

News Release

2017年5月22日

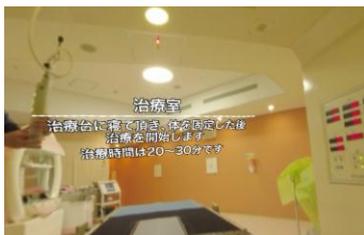
国内生命保険業界初「バーチャル・リアリティ」で先進医療関連の情報提供を開始

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上あいおい生命保険株式会社（社長：丹保 人重）は、2017年5月よりスマートフォンで再生したバーチャル・リアリティ(仮想現実、以下VR)映像を利用した情報の提供を開始します。

初回提供として、ガンの先進医療技術のひとつである粒子線治療を行う医療機関の施設見学を仮想体験できる映像を当社社員・代理店を通じお客さまに提供し、普段目にする事のない最先端の医療施設を実際に訪れたような体験をしていただくことができます。VRで先進医療施設に関する情報提供をするのは、国内生命保険会社では初めてです。

1. 初回提供の内容

- ・映像内容：粒子線治療を行う医療機関の医療施設と、隣接する宿泊施設を360度パノラマ映像で紹介。
粒子線治療とは、ガンの放射線治療のひとつで、水素や炭素の原子核といったミクロの粒子を利用した先進医療。身体的な負担が少なく、外科的手術が困難な場合や高齢者にも比較的容易に治療できる。1回の治療時間も15～30分程度と短く、入院せずに外来での治療が可能。
- ・撮影協力：メディポリス国際陽子線治療センター（鹿児島県指宿市）
2011年1月、九州初の粒子線治療専門施設として陽子線によるガン治療を開始。ガンに対する根本的、かつ身体にやさしいガン治療の実践を通して、国内外のガン患者さんのQOL(生活の質)向上に大きく寄与することを目的としている。当社は、2017年5月8日に母体である一般社団法人メディポリス医学研究所と「ガン医療の理解促進に向けた連携と協力に関する協定」を締結している。
- ・視聴方法：専用の簡易型HMD（ヘッドマウントディスプレイ）「VRscope®」にスマートフォンをセットして鑑賞。
「VRscope®」は、凸版印刷株式会社が独自開発した簡易HMD。スマートフォンにダウンロードしたVR映像を手軽に、立体感・臨場感あふれた映像で仮想体験できる。



<メディポリス国際陽子線治療センターの治療室>



<VRscope®>

2. 今後について

当社では、日々進化する医療情報をわかりやすくお伝えし、「正しく知ること」のお手伝いをする事も、生命保険会社の社会的使命の一つと考え、さまざまな最先端の医療に関する情報提供・啓発活動に積極的に取り組んでいます。

ガン治療についても、医療技術の進歩に伴い多様化しており、先進医療を受けるガン患者数は増えている現状です。粒子線治療を行う医療機関の医療施設をお客さまにより分かりやすくご案内し、臨場感を持って知っていただくことは、治療・施設選択の一助となるとともに、お客さまのさらなる安心につながると考えています。

今後は、介護や障害等の疑似体験やガンが転移する仕組みのアニメーション解説等、さまざまなVR映像を追加し、健康や医療についてよりお客さまに理解を深めていただくようなツールの提供を検討してまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ先

三井住友海上あいおい生命保険株式会社

経営企画部 広報グループ 酒井・柳田 TEL 03-5539-8309

営業企画部 販売企画グループ 竹石・平澤 TEL 03-5539-8216